

空爆利用も否定せず 共同開発戦闘機巡り防衛相

参院委で山添氏

浜田靖一防衛相は1日、日本、英国、イタリアで共同開発を進めている次世代戦闘機が第三国に輸出され、武力紛争に利用される可

能性を否定しませんでした。

参院外交防衛委員会で、

山添拓議員の質問に、

「次世代戦闘機が」

どう使われるか、これ

から議論する」と述べ

ました。

次世代戦闘機は日本

ではF2戦闘機の、英

国とイタリアでは現

在の主力戦闘機「ユー

ロファイター」のそれ

ぞれ後継機とされ、2

035年の配備を狙っ

ています。日本の開発

主体は三菱重工業で

す。

山添氏は、15年にサ

質問する山添拓議員

11日、参院外防委



山添拓議員

ウジアラビア主導の連

合軍が中東イエメンを

空爆した際、サウジの

戦闘機100機のうち

72機がユーロファイタ

ーで、英政府の許可で

輸出されたと指摘。人

権団体によると、約3

カ月で空爆は2724

回に及び、道路や橋な

ども攻撃され、一般市

民にも大量の犠牲者が

出たとして、「次世代

戦闘機はユーロファイ

ターの後継機であり、

戦闘行為に使われる兵

器を輸出するのか」と

批判しました。

山添氏は、日本政府

の開発責任者で防衛装

備庁の射場隆昌事業

「3カ国で検討してい

るが、決定したものは

ない」と述べるにとど

めました。

監督官がNHKのイン

タビューに「イギリス

とイタリアは輸出にこ

だわりがあり、売れば

売るほど単価が下がる

ので、たくさん機数

が出るのが重要だ」と

語ったことを挙げ、

「第三国への輸出あり

きで進めている」と指

摘。同庁の坂本大祐フ

ロジェクト管理部長は

「3カ国で検討してい

るが、決定したものは

ない」と述べるにとど

めました。